

ジャマイカ便り

第6号4月

2024年度 青年海外協力隊 馬淵 萌子 青少年活動

ワグワーン！（調子はどう？）岐阜県のみなさん、こんにちは。JICA 青年海外協力隊 2024年度1次隊、青少年活動で中南米のジャマイカに派遣中の馬淵萌子（まぶち もえこ）です。この前、新しい隊員が住む隣町に遊びに行きました。海が近いため、市場では新鮮な魚が売られていました。思わずお刺身を食べたくなり、一番大きな魚を買いました。自分で魚をさばくのは初めてで苦戦しましたが、とても良い経験になりました。7 か月ぶりのお刺身に感動しました。とても美味しかったです。市場の人と仲良くなれたので、魚を買うときは、隣町に行こうと決めました。ただ、生の魚を食べるときは、なるべく火を通し、アニサキスに注意しようと思います。そして、残りのジャマイカ生活の中で、魚を上手くさばけるように練習していこうと思います。さて、今回は第6号ジャマイカから見た「日本」について紹介したいと思います！



ジャマイカ人にインタビュー！



日本の印象はなんですか？

車！きれい！あと、地震がたくさん起こるよね



日本人はどんな人だと思いますか？

やさしい！きっちりしている！



日本ついて驚いたことはありますか？

タコを食べること！ジャマイカではあまり食べないよ



ジャマイカ人の同僚に日本の印象を聞くと、多くの人がまず日本車について話します。ジャマイカでは日本で使われなくなった車が多く走っており、日本の技術が遠く離れた地でも役立っていることに誇りを感じます。車内から日本語のアナウンスが聞こえると、日本を身近に感じる瞬間です。また、日本人については「優しい」という印象を持たれていました。特に2021年の東京オリンピックで、バスを間違えたジャマイカの選手を日本のボランティアが助け、無事レースに間に合い金メダルを獲得したエピソードが心に残っているようです。さらに、日本の食文化にも驚きがあり、たこ焼きを紹介した際、「日本人はタコを食べるの？」と驚かれました。ジャマイカではタコを食べる人は少なく、特に見た目には抵抗を感じる人が多いようです。

ジャマイカに来て気づいた日本の良いところ！

★ 四季があって季節ごとの楽しみが多い！

日本では、四季の移り変わりとともに季節限定の商品が登場し、春は桜風味のお菓子、夏は爽やかなドリンク、秋は栗やさつまいものスイーツ、冬はチョコレートやホットドリンクが楽しめます。ジャマイカにいと、こうした細やかな季節感を取り入れた商品展開の豊かさが、日本ならではの魅力だと改めて実感します。日常の中で季節の移り変わりを感じられる文化の美しさが、より一層恋しく思えます。

★ 街が清潔でゴミが少ない！

世界的にも、日本は清潔な国として高く評価されています。一方で、ジャマイカではゴミの分別をする習慣がなく、瓶や缶、電化製品などもすべて同じゴミ箱に捨てられています。日本では細かく分別し、リサイクルの意識が根付いているため、この違いに驚かされます。環境への配慮が生活の一部となっている日本の文化は、海外に出て改めてその価値を実感するものの一つだと思います。

★ エンターテインメントがたくさん！

日本には、テレビ番組、ドラマ、映画、アニメなど多彩な娯楽があり、ジャンルも豊富です。バラエティ番組のユニークな企画や、感動的なドラマ、世界的に人気のあるアニメなど、誰もが楽しめるコンテンツが揃っています。こうした充実したエンターテインメントは、日本の大きな魅力の一つだと思います。

★ 手軽で便利なオンラインショッピング！

ジャマイカでは住所がないため、オンラインで何かを購入する際には時間と手間がかかり、高額な送料やその他の追加費用が発生します。オンラインを利用している人は少ないです。日本では、物によっては送料無料で商品を購入でき、注文した商品が正確に期限内に自宅に届くため、非常に便利で効率的です。このようなスムーズなショッピング体験は、日本ならではの魅力の一つだと感じます。

JICA 青年海外協力隊は、派遣期間や配属先の規定に従って、1年間で最大20日まで任国外旅行が認められています。任国外旅行は自分で計画をたて、自費で行きます。私は今月、いよいよその任国外旅行に出かけます！どこの国に行ったのかは後々お話ししたいと思います。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。次回は、ジャマイカ隊員らに聞いてみた、ジャマイカあるあるについて紹介したいと思います。それでは、リックルモア！（またね！）